

No 33.

(1) [whoever]《学習院大》

① Overflowing with more information than we can possibly hold in our heads, we're increasingly handing off the job of remembering to search engines and smartphones.

→ 私たちは頭で保持できる以上の情報であふれていて、記憶の仕事をますます検索エンジンやスマートフォンに任せている。

◎文法解説:

- Overflowing with ...: 分詞構文。「～であふれていて」。主語は we。
- possibly: can の強調。「どうしても／とても」。「私たちがとても保持できないほどの」。
- increasingly = more and more: 「ますます」。
- hand off: hand は「渡す」、off は副詞で「手から離す」イメージ。「引き渡す」。

② Google is even reportedly working on eyeglasses that could one day recognize faces and supply details about whoever you're looking at.

→ グーグルは、顔を認識し、見ている相手が誰であれその詳細を提供できる眼鏡を、将来のために開発していると報じられている。

◎文法解説:

- even: 「～できえ」。強調。
- that could one day recognize ...: 関係代名詞 that。「顔を認識できる(眼鏡)」を修飾。
- whoever you're looking at: 「あなたが見ている相手が誰であれ」。複合関係代名詞。文中では前置詞 at の目的語。

③ But new research shows that outsourcing our memory — and expecting that information will be continually and quickly available — is changing our memorizing habits.

→ しかし新しい研究によると、記憶を外部に委ねること、そして情報が常に素早く得られると期待することが、私たちの記憶習慣を変えつつある。

◎文法解説:

- outsourcing ...: 動名詞が主語。「記憶を外部に委託すること」。
- continually: 「断続的に」「繰り返し」。
- is changing ...: 「～を変えつつある」。進行形で現在の変化を表す。
- continual と continuous の違い:
 - continual = 断続的に繰り返す

例: We had continual interruptions.

→ 私たちは何度も中断に悩まされた。

Supplementary notebook

- continuous = 途切れなく続く

例:The machine has been running continuously for 24 hours.

→ その機械は 24 時間途切れることなく稼働し続けている。

(2) [whatever]《神戸大》

① “It’s not that I’m so smart,” Einstein once said, “It’s just that I stay with problems longer.”

→ アインシュタインはかつてこう言った。「私はそれほど賢いわけではない。ただ問題に長く取り組んでいるだけなのだ」と。

◎文法解説:

- It’s not that S V:「～というわけではない」。that 節を名詞節に用いた構文。
- It’s just that S V:「ただ～なだけだ」。理由を限定する表現。

② Whatever the reason for his greatness, there is no doubt that this determination allowed him to invent new physics and explore areas that nobody else had dared to investigate.

→ 彼の偉大さの理由が何であれ、この決意によって彼は新しい物理を発明し、誰もあえて探究しなかった領域を探求できたことに疑いはない。

◎文法解説:

- whatever ...:譲歩を表す副詞節。「理由が何であれ」。
- whatever の名詞節と副詞節:
 - 名詞節:Take whatever you like.(好きなものを何でも取りなさい)
 - 副詞節:Whatever the reason, he was absent.(理由が何であれ、彼は欠席した)
- there is no doubt that ...:「～であることに疑いはない」。that 以下は名詞節。
- allow O to V:「O に V させる/O が V するのを可能にする」。
- explore:「探検する、探求する」。語源 ex-(外へ) + plorare(泣き叫ぶ、呼び出す)。
- investigate:「科学的・体系的に調べる」。
- examine:「詳細に点検する」。
- explore:「未知を切り開いて調査する」。冒険的・先駆的な意味合い。

(3) [whichever 名詞]《北海道大》

① There is no denying that social media is an important tool for communication today.

→ ソーシャルメディアが今日、重要なコミュニケーションの道具であることは否定できない。

◎文法解説:

- there is no denying that ...:「～は否定できない」。that 以下は名詞節で完全文。

② Through our social media accounts, we can easily connect and stay in touch with our family and friends.

→ ソーシャルメディアのアカウントを通じて、私たちは家族や友人と容易につながり、連絡を取り続けることができる。

◎文法解説:

・ stay in touch with A:「A と連絡を保つ」。

③ Some people, however, believe that with Twitter, Instagram, or Facebook, among others, we increasingly lose our ability to communicate face-to-face.

→ しかし一部の人々は、ツイッターやインスタグラム、フェイスブックなどによって、私たちがますます対面で意思疎通する能力を失っていると考えている。

◎文法解説:

・ however: 接続副詞。「しかしながら」。

・ however の接続詞と接続副詞:

- 接続詞 however = no matter how:「どんなに～でも」

例: However hard he tries, he cannot solve the problem.

→ 彼がどんなに努力しても、その問題は解けない。

- 接続副詞 however:「しかしながら」→ 文全体を修飾。

例: He tried hard. However, he failed.

→ 彼は一生懸命努力した。しかし、失敗した。

・ among others:「～など」。例示。

・ communicate face-to-face:「対面で意思疎通する」。

④ Whichever side we are on, what is certain is that social media has changed, positively or negatively, our communication in the 21st century.

→ 私たちがどちらの立場にしようとも、確かなことは、ソーシャルメディアが良くも悪くも 21 世紀のコミュニケーションを変えてしまったということである。

◎文法解説:

・ whichever side we are on: 副詞節。「私たちがどちらの側にしようとも」。

・ what is certain is that ...:「確かなのは～だ」。名詞節。

・ positively or negatively:「良くも悪くも」。挿入句。

(4) [wherever]《京都府立大》

① We are very familiar with the idea that humans are everywhere; that wherever you go in the world you will probably find people there already.

→ 私たちは「人間がどこにでもいる」という考えに非常に慣れ親しんでいる。つまり、世界のどこに行こうとも、すでにそこに人がいるだろうということだ。

◎文法解説:

Supplementary notebook

- be familiar with A:「Aによく慣れ親しんでいる」。
- the idea that ...:「～という考え」。thatは同格の that で名詞節を導き、完全文が続く。
- wherever you go ...:「どこへ行こうとも」。複合関係副詞で副詞節を導く。

② We are an unusual species in that we have a near-global distribution.

→ 私たちは、ほぼ世界的に分布しているという点で特異な種である。

◎文法解説:

- in that S V:「～という点で」。理由を表す接続詞。

③ And although people around the world may look quite different from each other, and speak different languages, they can nevertheless recognise each other as distant cousins.

→ 世界中の人々は互いに見た目も言語も異なるかもしれないが、それでもなお遠い親戚として互いを認識できる。

◎文法解説:

- although S V:「～だけれども」。譲歩を表す。
- nevertheless:「それにもかかわらず」。although と相関関係をなしている。
- recognise A as B:「AをBと認識する」。